平成26年3月期 第2四半期決算説明会

I.平成26年3月期 第2四半期決算概要

常務執行役員 財務部長藤井 秀則



東海旅客鉄道株式会社 平成25年10月30日

平成26年3月期 第2四半期決算概要(連結)

	25年3月期 2Q累計 (4-9月)A	26年3月期 2Q累計 (4-9月)B	増減 (B−A)
営業収益	7,898	8,147	+249
営業費用	5,461	5,265	△195
営業利益	2,436	2,881	+445
営業外損益	△589	△422	+166
経常利益	1,847	2,459	+611
四半期純利益	1,142	1,595	+453

[◆]長期債務残高 連結:2兆5,753億円(前期末比△646億円)

平成26年3月期 第2四半期決算概要 (連結・セグメント別)

		25年3月期 2Q累計 A	26年3月期 2Q累計 B	増減 (B−A)
営業収益		7,898	8,147	+249
	運輸業	6,247	6,311	+63
	流通業	1,030	1,053	+22
	不動産業	319	329	+9
	その他	952	1,069	+116
営業費用		5,461	5,265	△195
営	業利益	2,436	2,881	+445
	運輸業	2,302	2,729	+426
	流通業	33	38	+4
	不動産業	77	77	0
	その他	18	22	+3

[※]セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

平成26年3月期 第2四半期決算概要(単体)

25年3月期 26年3月期 増減 2Q累計 A 2Q累計 B (B-A)営業収益 6,258 6,317 +59(運輸収入) (5,816)(6,017)(+200)営業費用 3,935 3,575 $\triangle 359$ 人件費 859 871 +12物件費 1,409 $\triangle 436$ 1.845 動力費 206 179 十27 修繕費 372 793 $\Delta 420$ 業務費 873 829 $\triangle 43$ 租税公課 165 163 $\Delta 2$ 減価償却費 1,064 1,131 +66営業利益 2,322 2,742 +419経常利益 2,326 1.743 +5821,532 四半期純利益 1,091 +440

平成26年3月期 第2四半期決算説明会

Ⅱ.平成26年3月期業績予想、主な施策展開

取締役 専務執行役員総合企画本部長宮澤 勝己



上期実績の推移 (東海道新幹線輸送量)

◆東海道新幹線断面輸送量(対前年比·東京口)



平成26年3月期 通期業績予想の修正(単体)

増減 26年3月期 26年3月期 前回予想 A 今回予想 B (B-A)12,340 12,530 +190営業収益 (運輸収入) (11,721)(11,906)(+185)営業費用 8,310 8,360 **+50** 人件費 1,740 1,740 物件費 3,650 3,660 +10410 動力費 420 +10修繕費 1,390 1,390 業務費 1,850 1,850 租税公課 340 340 減価償却費 2,580 2.620 +40営業利益 4,030 4.170 +140△780 △860 営業外損益 $\Delta 80$ 3,250 経常利益 3,310 +60 2,130 2,180 当期純利益 **+50**

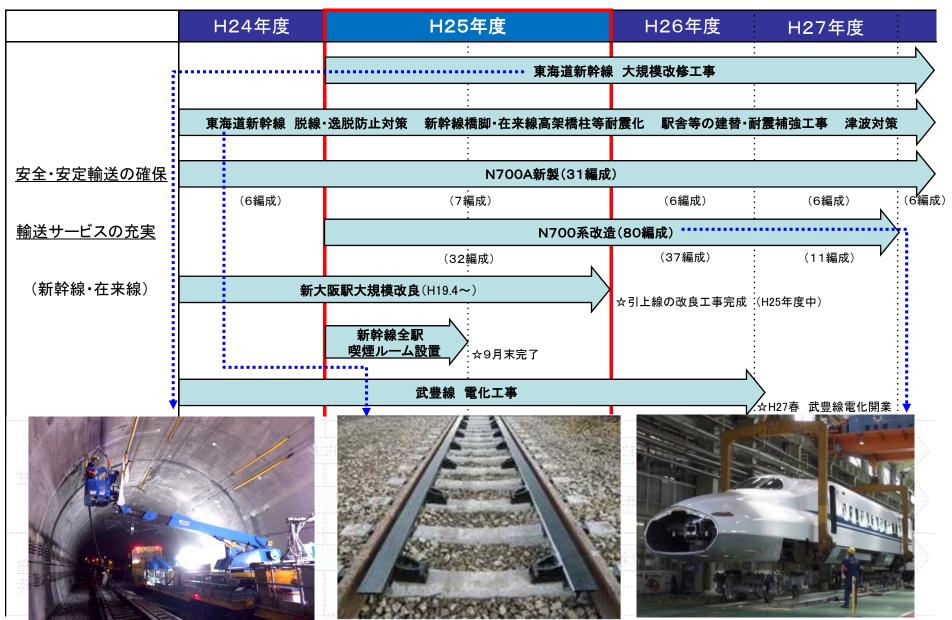
平成26年3月期 通期業績予想の修正 (連結・セグメント別)

26年3月期 26年3月期 増減 前回予想 A 今回予想 B (B-A)営業収益 15,980 16,210 +230運輸業 12,323 12,515 +192流通業 2,108 2.189 十81 不動産業 661 661 その他 2,422 2,438 +16営業費用 11,710 11,770 +60営業利益 4.270 4.440 +170運輸業 3,999 4,141 +142流通業 +6 65 71 不動産業 143 +1 144 その他 73 83 +10△800 △880 営業外損益 $\Delta 80$ 経常利益 3,470 3,560 +90 当期純利益 2.220 2.290 十70

主な施策展開

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
		:					
	東海道新幹線大規模改修工事						
		<u> </u>		<u> </u>			
	東海道新幹線 脱線・	逸脱防止対策 新幹線橋脚・在来線高架橋柱等耐	震化 駅舎等の建替・i	耐震補強工事 津波対策			
安全・安定輸送の確保	N700A新製(31編成)						
	(6編成)	(7編成)	(6編成)	(6編成) (6編成)			
輸送サービスの充実		N700系改造(80編成)					
		(32編成)	(37編成)	: (11編成)			
(新幹線•在来線)	新大	新大阪駅大規模改良(H19.4~) ☆引上線の改良工事完成:(H25年度中)					
		新幹線全駅 喫煙ルーム設置 ☆9月末完了	·(CZ3年及中)				
		武豊線 電化工事					
		<u>:</u>	,	/☆H27春 武豊線電化開業: :			
営業施策の強化	「エクスプレス予約」及び「プラスEX」サービスの会員数拡大・ご利用拡大						
		:					
	東京ディズニーランド、伊勢神宮、京都・奈良等の観光資源を活かした各種キャンペーン						
				: : : : : : : : : : : : : : : : : : : :			
鉄道以外の事業の	名古屋駅新ビル計画の推進 駅ビルの商業施設や流通事業の活性化						
着実な推進		(テナントリーシング) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					

主な施策展開



大規模改修工事の例(トンネル) 脱線防止ガード N700系改造 **10**

主な施策展開

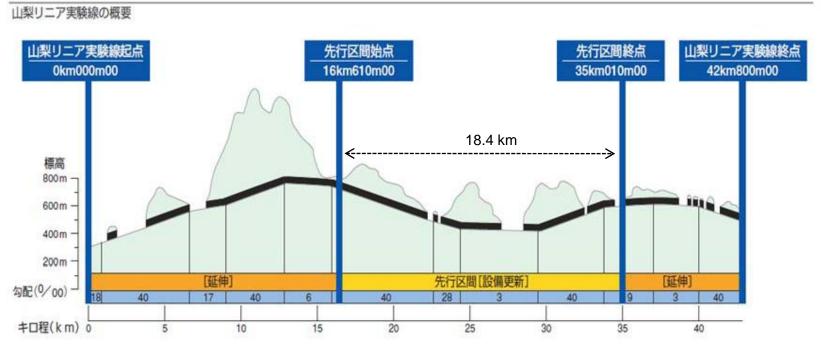


山梨リニア実験線で走行試験再開

- ◆ 42. 8kmへの延伸と設備更新を推進
- ◆平成25(2013)年8月29日 走行試験再開
 - →営業線仕様の確認、超電導リニア技術 のブラッシュアップやコストダウン等に 取り組む。



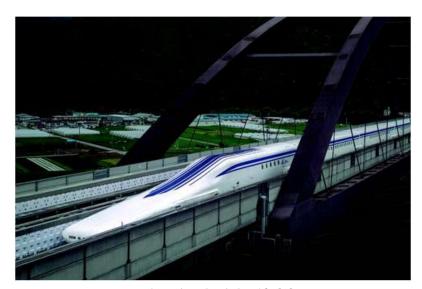
山梨リニア実験線42.8km 出発式



中央新幹線計画の進捗

営業主体・建設主体指名、整備計画決定、建設指示(5月) ◀「配慮書」公表 (6-8月) H23 (2011)◀「方法書」公告 (9月) 年度 方法書説明会 環 境 ◆ 中央新幹線計画の説明会 調査(猛禽類の2営巣期) (1回目) 5月~9月 H24 環境影響の予測 セ (2012)年度 ス 環境影響の評価 火 ◆中央新幹線計画の説明会 (2回目) 5月~7月 H25 ▲「準備書」公告(H25年9月20日) (2013)準備書説明会(H25年9月27日~10月18日) 年度以降 ◀「評価書」公告 工事実施計画申請・認可 着工

平成26年3月期 第2四半期決算説明会



東海旅客鉄道株式会社 平成25年10月30日

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更などが挙げられます。